

# 社会 ニュース

第182号

発行日 平成27年12月8日  
 発行日 社会福祉法人 みのり会 中台育心園 園長/千葉桂資  
 〒311-2213 茨城県鹿嶋市大字中431-20  
 電話 0299 (69) 2222  
 FAX 0299 (69) 2237  
 ホームページ <http://nakadaiikushinen.jp/>

## 今月の生活目標

### 【単元】

□ 勤労の尊さ



### 【目標】

- 勤労の意義や尊さを知り健康で働ける（生活できる）ことに感謝できるようになりましょう。
- 喜んで働く態度や親切な心を持って、皆のために尽くしましょう。

## 「社会福祉法人の新たな役割」

サービス管理責任者 千葉 博

社会福祉施設などを運営する「社会福祉法人」が変わろうとしています。今後、すべての社会福祉法人に、生活に困った人の相談支援など、地域で足りない福祉サービスの提供を責務として求められるようになっていきます。

社会福祉法人は、介護、児童、障害などの分野で社会福祉事業を行う非営利の民間組織であり、設立には国や都道府県などの認可が必要になります。行政の委託で福祉事業を行うなど、社会福祉の中核を担う存在となつていきます。非営利で公共性が高いことから、行政の指導監督などの規制が厳しい反面、収益にかかる法人税や所有する土地や建物への固定資産税が非課税となる優遇措置があります。

2000年に、それまで社会福祉法人が主に担ってきた介護や保育などの福祉分野を民間企業やNPO法人も担えるようになり、同じ事業で得た利益でも企業などには課税されるため「社会福祉法人だけ非課税はおかしい」、「制度で決められた仕事以外していない」、「利益を溜め込んでいる」などの批判もありました。



楽しくお泊まりしてきました(鹿島ハイツ宿泊体験)

公共性の高さを理由に税制優遇されている分、もつと社会（地域）に貢献し、社会福祉法人の存在価値を高めて、期待に応えていけるよう一層努力していかなくてはならなくなりました。

今後、社会福祉法人が新たに行うサービスの内容には、生活困窮者の相談支援や高齢者の見守り、障害者や引きこもりの人への就労支援などが期待されていますが、新たな福祉サービスの実施を求められた法人側には、正直「何をすればいいのか」という戸惑いや、「これまでも自主的に取り組んできた」との反発もあり、反応は様々です。

サービスの内容は、各法人が決められる事ができますが、当法人としても

住民の声や地域のニーズを探り、法人の持つ特色や強みを生かし、創意工夫しながら新たな事業を展開し、地域社会に少しでもお役に立てる事ができる施設づくりを目指していきたいと考えております。

改めて、社会福祉法人が置かれている立場を自覚し、職員一同新たな気持ちで邁進して参りたいと思っております。

## 「高齢化対策の取り組み」

生活支援員 近藤 修広

現在、日本において高齢化が進んでおり、その現状を把握し様々な取組が必要となつてきています。当園でも、65歳以上の利用者さんが全体の1割を占めており、今後どのように対応していくか積極的に取り組んでいかなければならないと思っております。

人が歳をとっていく中で、顕著に衰えを感じるものの一つが「筋力」です。重い物が持てなくなる、生活動作が遅くなる、以前より食欲がなくなる等といった現れ方です。そのままにしておくと、いざれ歩けなくなったり、簡単な生活動作も自力では難しくなってしまう可能性があります。予防策として、運動、食事、

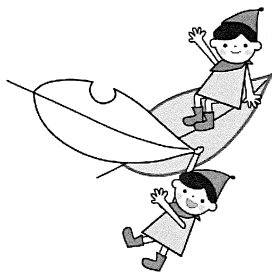
トイレ等、現在できている事を今後  
も自力でできるよう支援していく事  
が大切です。

まず運動です。当園では午前中の  
日課に体力づくりを取り入れ、利用  
者の皆さんは毎日、歩行訓練をして  
います（個人々に合った歩行距離  
や運動を設定して取り組んでもらっ  
ています）。積極的に体を動かす事  
により、高齢の方には体力の維持を、  
まだ若い方には向上を、それぞれ図  
っています。

運動をする事で腸内が活性化さ  
れ、排泄がよくくなります。すると、  
食欲もわくようになり、食事もおい  
しくなります。体力も維持でき、一  
石が二鳥にも三鳥にもなるのです。

当園では、食事前の嚥下体操（対  
象者）も取り入れています。皆さ  
ん、意欲的に参加されており、ご飯  
がおいしく食べられるようになった  
という声も聞かれています。

食と運動は生活の基本です。高齢  
者だから、とマイナスに考えるので  
はなく、むしろ楽しくシルバライ  
フが送れるよう、微力ながらお手伝  
いしていきたいと思っています。



外で食べるとおいしいね♪(園庭ピクニック)

### グループだより

#### ★ひまわりグループ

#### 『がんばれ！園芸男子』

今年度より農耕班に新しいメン  
バーが入りました。川尻さんです。  
軍手と帽子を身に付けて園庭の除草  
をするのが川尻さんのお気に入りの  
休日の過ごし方です。園の畑は雑草  
の根が強く、何度抜いてもあつとい  
う間に生えてくる…。そんな強敵も  
グループ随一の園芸男子の川尻さん  
にとつては朝飯前のようなのです。  
ひまわりグループや農耕班も高齢  
化が進んでいます。36歳とまだ若  
い川尻さんの力が光っています。こ  
れからも作業班やグループでの活躍  
を期待しています！  
(井関)

## グループホームだより

### みんなの広場

『GH千葉』世話人 多辺田昌代

10月25日に、みんなの広場に行ってきました。  
市営バスに乗って会場に着くと、皆口々に「いい  
匂いがする」「人がいっぱいだ」と、おまつりの雰  
囲気にわくわくしている様子でした。

昼食の為に店を見て歩き、何を食べようかと  
悩みに悩んで、最終的に行列のできている人気店  
に決めました。長い列に並びましたが、皆、待ち  
時間の長さを楽しんでいるようでした。

午後からは皆で中台の店のお手伝いです。エ  
プロンをつけ凛々しい姿に変身した三人は、「い  
らっしゃいませ！」「ありがとうございました！」  
と、元気よく接客に励んでいました。

お手伝いが終わると、また会場を見学。ゆるキャ  
ラや小動物、演奏パフォーマンスを見ては感心し、  
輪投げ、三角くじなどにも挑戦し、おまつりを満  
喫したようです。ホームに戻ってから、皆で楽  
しかったね、と笑顔で話し合っていました。

一日中歩いて私の足は棒になってしまいました  
が、GH千葉の皆さんは疲れも見せず元気元気で、  
あっという間に一日が終わりました。

### 日々の生活の中で

『GH梵天』世話人 中山多嘉子

日々の生活の中で、利用者さんの表情、会話は  
同じ日はありません。いつもは明るく笑顔で過  
していますが、仕事での出来事や、仲間同士のや  
りとりの中で落ち込んでしまう方もいます。そ  
んな時は、色々と話しかけたり、お手伝いには少  
し大げさにお礼を言ったりして励ますようにして  
います。

ですが、こちらからの働きかけよりも皆さんを  
元気にするのは、『話を聞いてあげる事』だと気付  
きました。伝えたい事がうまく表現できない方、  
中々言い出せない方もいるので、その『聞いてほ  
しい』の信号を見逃さないように心掛けています。

仲間同士のちょっとしたトラブルでは、お互い  
にギクシャクしてしまう事があります。そのよう  
な時には、それぞれ話を聞かせてもらい、仲直り  
のきっかけを作るようにしています。すると、ど  
ちらかともなく「ごめんね」と言い、自然に握手  
をし、笑顔になっているのです。周りもつられて  
笑顔になり、私も知らず知らずの内に目尻が下が  
ってしまいます。雨降って地固まる。皆さん、本当  
に強い絆でつながっているのだな、と感じます。



何を食べようか考え中…でもピースは  
欠かせません。(みんなの広場)

### ★すみれグループ 『食後の日課』

辻さんが毎食後欠かさずに行っている事があります。それは、グループに戻る前に厨房職員に「ごちそうさま」と一声かける事です。

「いただきます」や「ごちそうさま」の挨拶は、他の利用者の皆さんもしている事ですが、辻さんは元々小柄で、ここ数年は腰も曲がりつつあり、食堂のカウンター越しに厨房に声をかけるのは本当に大変なのです。背を伸ばしても厨房の中までは見えないのですが、辻さんは一生懸命「ごちそうさま」を伝えようとしてくれるのです。厨房職員もそんな辻さんに「ありがとうございました」と笑顔で返っていて、そんなやりとりにもいつも癒されています。(横田)

### ★あざみグループ

#### 『正義のヒーロー』

ある日の午後、皆がダイニングでくつろいでいる時でした。

友達同士でふざけあっていた二人がいました。そのうちそれがエスカレートし、一人がもう一人の手をぎゅっと掴んで離そうとさせません。掴まれた方は嫌がっていたので、職員が入ろうとしたその瞬間、いつもは大人しい坂本さんが立ち上がって、「やめなよ！掴むなら僕の手を掴みなよ！」と、仲裁に入ってくれたのです。坂本さんのおかげで二人はすぐに仲直りしました。

トラブルを仲裁するのは、本当に勇気のいる事で、その正義感に「ありがとう！」とお礼を言うと、坂本さんははにかんだように照れ笑いをしていました。それを鼻にかける事もなく、本当の正義のヒーローの姿を見たような気がしました。(高野)

### ★なでしこグループ

#### 『只今幸せ真っ最中?』

ある休日の午後、私が繕いものをしてしていると中川さんと岡田さんが来て「藤城さんは好きな人いますか?」と、いきなりの直球質問を投げかけてきました。予期せぬ問いにドキドキが止まりません。実は、私は、その手の話が苦手です・・・自分

## 厨房だより

栄養士 茂木 豊子

### 『中台の恵み』

中台育心園の農耕班で収穫された農作物は、新鮮なうちに厨房に納品されてきます。今年もたくさんの恵みを給食で提供しました。

じゃがいも、ニンジン、大根、にら、ナス、スイカ、オクラ、長芋、かぼちゃ、トマト、みょうが、さつまいも、むらさきも等々。

じゃがいもはコロケに、大根はおろしそばに、オクラは納豆と混ぜてネバネバ丼。かぼちゃのクッキーやプリン、クッキング体験で利用者の皆さんと一緒に作りました。むらさきもは、芋あんにしてパン工房梵天で特製あんぱんを作ってもらい、利用者さんのおやつになりました。

一年を通してたくさんの恵みをありがとうございました。来年も期待していますので、農耕班の皆さん、よろしくお願いしますね!



とっても  
真剣です。

なでしこグループで  
クッキング♪  
かぼちゃパフ工製作中!



みんなで掘った  
おいもは、  
おいしいおやつに  
なりました。

への問いを流す為に「二人はどうなの?」と逆に聞いてしまいました。すると「いるよ。〇〇さん」と、あっさりと答えてくれたのは男性職員の名前でした。そして「藤城さんは、〇〇さん好き?」と聞くのです。その職員さん、私の息子とほぼ同い年です。と答えると、二人とも大笑

いをしていました。人を好きと言える純粹な気持ちはいくつになっても大切で、それが笑顔の源になっていくのがとてもいいなと思いました。そして、少し羨ましいな、と感じたのは、二人には秘密です(笑)。(藤城)



# 施設実習を終えて

## 植草学園短期大学

### 太田有香

十日間の実習はあっという間で、毎日新しい学びがありとても充実していました。

今回の実習で一番大切だと思った事は、コミュニケーションです。利用者さんと職員の方の関わりを見て、家族のように思い、関わっているように感じました。日々のコミュニケーションがあるからこそ、その日の利用者さんの体調の変化等にすぐに気付けるのだと思います。

今回の実習では、利用者さんの頑張っている姿や「明日もよろしく」という言葉に励まされる毎日でした。中台育心園の皆さんと過ごした日々は、私にとって一生の思い出です。今回学んだ多くの事を忘れず、夢に向かって努力していきます。ありがとうございました。

### 坂本美恵

二週間の実習が過ぎるのがとても早く感じました。中台育心園の利用者さんや職員の方々は、とても温かく、安心して実習に臨めました。毎日がとても充実していて本当に多くの事を学ぶ事ができました。

実習を終え、障害について更に理解を深めたいと思うのと同時に、障害を持つ方々の思いを受け止め、役に立ちたい、支えたいという気持ちがより強くなりました。

今回の実習で、どう生まれたかではなく、どう生きるかが重要なのだという事を感じました。一生懸命、日々輝いている利用者の皆さんに負けまいように、私も一日一日を大切にしようと思いました。ありがとうございました。

## 跡 跡 跡

〔9月・10月〕

【寄付】

▽山口一則様

▽片岡なみ子様

▽多辺田昌代様

▽小野口里子様

【来園者】

▽ベルの会様 (洗濯ボランティア)

▽アットホームアンサンブル・ウイズ様 (演奏ボランティア)

▽演奏ボランティア) ▽羽生明義様 (絵画指導) ▽横田裕樹様 (会計監査) ▽永光パートナーズ渡辺様 (会計指導) ▽マウント阿部様 (システム調整) ▽日立総合防災様 (消防設備点検) ▽鹿嶋市役所 山道様、大嶋様・小野木二郎様、公子様、義雄様 (利用相談) ▽小林知江様 (研修講師) ▽聖徳大学 小野瀬様 (実習巡回)

▽植草学園短期大学 浅川様 (実習巡回) ▽あすなろ園 岡崎様 (ミュージック・ケア見学) ▽太田有香様、原千紘様 (ボランティア) ▽野口りつ子様 (相談支援契約) ▽湖林弘様 (契約) ▽辻芳一様、清一様 (面会)

【シヨートステイ】

▽茂木カツ子さん

【日中一時支援】

▽本谷竜久さん (放課後支援)

【施設実習】

▽聖徳大学

島澤憂様、荻原希美様

〔9月1日〜9月12日〕

▽植草学園短期大学

坂本美恵様、太田有香様

(9月14日〜9月24日)

【9・10月誕生者】

▽橋爪恵子さん (9月9日)

▽湖林健司さん (9月21日)

▽石田直也さん (10月3日)

▽池田友子さん (10月4日)

▽平間尚輝さん (10月16日)

▽大部なおみさん (10月22日)

▽鳥居貴裕さん (10月29日)

## 編集後記

ある朝の事です。マウスウオッシュとハンドソープを間違えるという、ベタな事をしました。

「口の中もばっちり殺菌!」と、勢いだけで乗り切ろうとしたのですが、その日の午前中は口の中の石鹸の味が消えず、気持ち悪くてしかたがありませんでした。

勢いだけでは乗り切れない事もあって学び、マウスウオッシュとハンドソープのボトルの位置を再確認。二度と間違えない!と心に決めたその翌日。今度はマウスウオッシュで手を洗おうとしてしまう訳です。そして、その日の午前中は手がすーすーして、やっぱり気持ち悪くてしかたありませんでした。

適材適所。洗剤だって適材適所なんだなあと、もう一つ学びました。

〈チヨダ〉

